

令和５年度第１回京丹波町総合教育会議 議事録

１ 開催日時 令和５年１１月１０日（金） 正午～午後３時

２ 開催場所 京丹波町立丹波ひかり小学校

３ 出席者 （１）構成員 ７名

畠中源一町長、松本和久教育長、片山幸男教育長職務代理者

津田勝二委員、谷文絵委員、金子和子委員、山根里香委員

（２）事務局 ７名

・総務課

田中課長、徳島課長補佐、片山総務係長

・教育委員会

堂本教育次長、宇野学校教育課長、小谷学校給食センター長

田端教育振興室長

（３）説明者、関係者 ６名

・丹波ひかり小学校 ４名

日下部校長、中井教頭、木村教務主任、榎川栄養教諭

・南丹教育局 ２名

４ 傍聴者 なし

５ 会議の概要

（１）学校給食の現状について（正午～午後０時４０分）

ア 学校給食について

小谷学校給食センター長から、京都府教育委員会事業による子どもの教育のための総合交付金事業「食の町京丹波（フードバレー）ならではの学校給食創造事業」の取り組みについて説明を行った後、榎川栄養教諭から、当日の給食献立（「双葉ごはん」の日）について説明を行った。

イ 学校給食の試食

出席者が、友好町の福島県双葉町のメニューを取り入れた学校給食の試食を行った。

ウ 京丹波わくわくサイエンス２０２３について

田端教育振興室長から、１２月３日に開催する京丹波わくわくサイエンス２０２３の趣旨、内容等について説明を行った。

休憩： 午後 0 時 4 0 分～0 時 5 0 分

(2) 町立小学校の現状について (午後 0 時 5 0 分～1 時 5 5 分)

ア 学校紹介

日下部校長から、丹波ひかり小学校の教育活動の概要について説明が行われた後、木村教務主任から、当日 5 校時の授業内容について説明が行われた。

イ 授業参観

出席者により、各学年の 5 校時授業の参観を行った。

休憩： 午後 1 時 5 5 分～2 時

(3) 会議 (午後 2 時～3 時)

ア 開会あいさつ

畠中町長が会議開会にあたってのあいさつを行った。

イ 意見交換

構成員により、学校給食及び授業参観、その他教育に関して意見交換を行った。概要は以下のとおり。

- 【委員】授業参観では、児童の個性が生かされている内容を見ることができた。給食も美味しくいただいた。双葉ごはんを通じて、子どもたちも考える力がつけば良いと思う。
- 【委員】男性教諭による家庭科授業が印象に残った。活発な授業であったと感じた。
- 【委員】児童が明るい感じであり、それぞれの学年の個性が見られた。大人数で教室に入っても、物おじせず進められていた。タブレットの利用により皆で共有でき、効果的に授業が進められていた。給食を通じて、双葉町に思いを馳せてくれると良いと思う。
- 【委員】他校と比べて人数が多く、その視点で参観した。タブレットを使用した授業の中で、理由は分からないが、タブレットを机に出していない児童がいたのが気になった。1 年生から 6 年生まで全員の自己紹介カードが、みんなが通る廊下に掲示されているのが良かった。
- 【委員】子どもたちの学習に向かう姿勢に活気を感じた。ひかり学級では、めあてを明確にした授業ができていた。タブレットが活用されていたが、撮影した写真の画像に書き込みができるような工夫ができれば、なお良いと思う。学習支援員の力により、授業が円滑に進められていた。新型コロナの影響か、給食時に黙食を行う意識がまだ残っているのかなと感じた。

【委員】夏季休業中は、放課後児童クラブの利用が多く、施設が手狭となるため、学校の一部を使用している組があり、運営上の課題であると思う。

【校長】児童それぞれ様々な事情を抱えているが、教職員は努力、工夫して対応している。タブレットに関しては、ＩＣＴを活用するための授業ではなく、効果的に授業が進められる場合に使用することを目的としている。

【教育長】今年度、学習支援員の配置について手厚い予算措置をいただいた効果として、南丹管内でトップレベルの授業ができていると考えている。また、読書指導員による図書室運営のレベルも上がっている。今後も予算を効果的に使えるよう、努力していきたい。タブレットを導入して３年目となり、児童の操作レベルも上がっている。導入後５年を経過すると更新時期となるため、国においても、タブレット更新に向けた積立を検討されている。学校給食に関しては、丹波篠山市が全国学校給食甲子園で入賞され、日本一の給食とＰＲされているが、京丹波町の給食も負けていないと思う。来年度も府の交付金を活用し、給食に関して児童、生徒も参画した取り組みができればと考えている。

【町長】全般的に、各学年ともまとまっており、落ち着いた様子であった。先生の一生懸命さを感じることができ、かつ、のびのびと授業されていた。タブレットの活用に見られるように、良い環境で学習できていると感じた。学習支援員の皆さんにもたくさん支援いただいております、良い授業、取り組みを見ることができて良かった。

【教育長】丹波ひかり小学校では、色々と先進的な取り組みを進めている。特徴的な取り組みを紹介していただければ。

【校長】一人では登校しにくかった児童が、運動会のダンスの取り組みを通じて登校できるようになった事例がある。その児童はダンスが好きで、運動会で披露するダンスの練習に参加し、皆と一緒に頑張っており取り組んでいた。また、長期間不登校の児童について、丁寧に対応を進めていき、修学旅行と運動会に参加できた事例もある。

【町長】授業参観でも良い雰囲気を感じた。子どもたちも、受け入れる力がついてきたのかなと感じる。先生も大変ではあるが、魅力ある仕事であると思う。

【校長】教職員一人の力では難しいこともあるが、学校全体が担任という意識を持って対応することを心がけている。

【町長】児童と同じ目線で接することが大切である。

【校長】信頼関係が大事であり、常に心がけている。

【委員】保護者として、安心して学校に通わすことができている。今日は参観日ではなかったが、どの子も明るい表情であり、楽しんでいるように感じた。

【委員】放課後では、親が、今の子どもの遊びを経験しておらず、ついていけない部分があり、少し怖さも感じている。

【委員】下校後に、保護者が送迎しないと子ども同士で遊べない環境がある。放課後の過ごし方が変わってきている。

【委員】地域が、地域の子ども達を知ってもらい、地域全体で子どもを育てていく意識を持つ必要がある。

【教育長】今回は学校現場を確認し、本町教育の到達点を共有いただいた。ＩＣＴ教育に関しては、本町でも一定の浸透、成果が見られている。今後の更新整備に関しては、この総合教育会議でも協議させていただきたいと考えている。学校給食創造事業については、実質的に９月から始めた取り組みであるが、この２ヶ月間でかなり充実したものとなってきた。今後の学校教育に関しては、猛暑の中での教育活動の進め方が課題となってくる。総合教育会議でも議論できればと思う。

ウ 閉会あいさつ

松本教育長が閉会あいさつを行った。

[閉会：午後３時]